



センター通信

常呂川森林ふれあい推進センター

常呂川森林ふれあい推進センターでは、森林環境教育や森林ふれあいの取組みを振興局東部森林室と連携して実施しています。今回はその一部を紹介します。

「山の日」記念 仁頃山散策会

昨年から祝日となった「山の日」を記念して、8月26日（土曜日）、森林環境と眺望に優れた人々に親しまれている仁頃山国有林で、東部森林室と国有林（網走中部森林管理署及び当センター）が共催で、仁頃山散策会を開催しました。（昨年は8月11日に藻琴山で実施）

当日は一般公募で申し込まれた北見市を中心とする市民の方24名が参加し、旧北見市の最高峰829mの頂上を目指すチャレンジシコース（登山）と植物などを観察しながら5合目を目指すのんびりコース（散策）の二つ

のコースに分かれ、富里湖森林公園駐車場を出発しました。

当日は、出発直後に通り雨が降りましたが、その後は晴天となりました。

のんびりコースでは、スタッフから植物の生き残りのための知恵や工夫などの説明を受けながら、キツリフネ、イケマ、ヨツバヒヨドリ、トリカブト、



散策の様子（のんびりコース）



頂上での記念撮影（チャレンジコース）

ハンゴンソウなどを観察し、2時間30分で目的地に到着しました。

また、チャレンジコースは、2時間で目的地の頂上に到着すると、360度のパノラマに歓声が上がりました。

参加者からは、「日頃の運動不足を実感」「次回は頂上を目指したい」「とても楽しかった」などの声があり、「山の日」の趣旨である「山に親しむ機会を得て、山の恩恵に感謝する」ことが実感できた一日となりました。

木育・森林環境教育 意見交換会

東部森林室と当センターでは、オホーツク地域における「木育」と「森林環境教育」を関連づけてより効果的な活動としていくために、定期的に意見交換会を開催し、お互いに知恵を出し合いながらスキルアップに努めています。

これは、北海道と北海

道森林管理局で締結した「北海道の森林づくりに関する覚書」(平成25年6月17日締結)に基づき行っているもので、第1回目の平成27年は北見市の「オホーツクの森」国有林で、第2回目の平成28年は津別町のチミケツブ道有林で、現地検討を行うとともに活動内容等情報を共有しました。

第3回目となる今年は、10月に、網走市美岬国有林で開催を予定しており、今後も東部森林室と連携を強化し、森林・林業の役割や木材利用の意義に対する道民の理解と関心を高める取組みを推進していきますと考えています。



現地検討の様子（津別町道有林）